

「本庄市の水道の現状について」の説明会の内容について

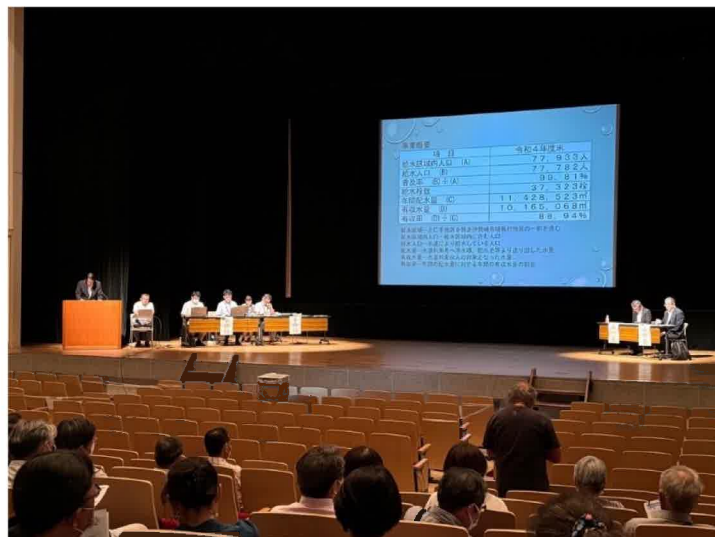
報告事項第 1 号の資料

- ・【資料 2】「本庄市の水道の現状について」の説明会の内容について
- ・「本庄市の水道の現状について」（説明会資料）
- ・水だより第 1 2 号

開催実績

開催日時	会場	参加者数
8 月 1 日(木曜日) 午後 7 時～午後 8 時 40 分	グローバルソフトウェア本庄文化ホール (本庄市民文化会館) ホール	61人
8 月 2 日(金曜日) 午後 7 時～午後 8 時	本庄市児玉文化会館セルディ ホール	37人

説明会の様子



市民説明会 8/1（木）グローバルソフトウェア本庄文化ホール

質疑応答（概要）

※内容については、要約させていただいています。

		質 疑 応 答
1	Q	水道の漏水の工事をしていました。その時に週に2～3箇所、年間で200箇所あると聞きました。災害時の水は重要なので、早急に対策をしなければならぬのは分かりました。料金改定のサイクルをどれ位ですと問題が解決しますか。
	A	本市では、アセットマネジメント計画を策定しました。水道施設を更新して100年維持するための計画です。水道管は40年が法定耐用年数ですが、更新は継続して実施する必要があります。計画的に更新することで健全度が保たれると考えています。（料金改定のサイクルは、計画的に更新を進めることで問題は解決していくと考えています。）
2-1	Q	収入を得るためには水道をたくさん使ってもらうことになると思います。企業が使う量と一般家庭が使う量はどれくらいの比率になりますか。 企業が自社で井戸を使っているところがあります。市の水を使ってもらえば売上が増えるのではないのでしょうか。
	A	企業と個人の契約件数の比率については、一般家庭の13mmから20mmまでが97%以上を占めています。使用水量については、令和4年度時点で73%が一般家庭（個人）で、27%が大口（企業）です。
2-2	Q	大口で市の水を使っていないところを調べていますか。
	A	企業では児玉工業団地は全ての企業が契約しています。自前で井戸を使っている企業も、市の水は併用で使用しています。市と契約していないところはないと考えています。
2-3	Q	そういう企業も市の水を使っていけば売上げが増えていくと思います。
	A	ご質問はそのとおりだと思います。本当は大きい口径の水道管をひきたいという思いもありますが、設備投資にお金がかかるというジレンマがあります。地下水だけに頼っていると、本当に安定的なのかと企業自体も心配している状況もあります。健全な水道経営のために努力していきたいと考えています。
3	Q	段々人口が減ってきています。人口減を見据えたコンパクトシティという都市計画もあります。それとリンクして給水も考えたらいかがでしょうか。新たに離れたところに水道をひかないという行政はできないのでしょうか。上里町等と広域圏で災害時に備えて融通しあえるシステムを考えられないのでしょうか。
	A	まず1点目のコンパクトシティについてですが、市民の皆様の生活に必要な不可欠な水道水を供給するという水道事業であり、一般企業のように利益を求める企業ではありません。市の都市計画と合わせながら独立的な経営が維持でき

3		る形で計画等を進めて行きたいと考えています。 2点目の広域的な考え方についてですが、埼玉県内を12ブロックに分けて、広域化について検討することが進められています。児玉郡内についても、一度に広域化というのは難しい状況ですが、物資の購入を共同とする等の対策について考えています。
4-1	Q	市議会の質問を見ました。水道経営を財政的に圧迫している原因の1つが県水の導入ではないかと質問が出ています。年間1億4,500万円の県水使用料が支出の中で大変多くなっています。県水を受け入れる量を減らしていくべきではないでしょうか。
	A	本庄市は大丈夫ですが、地下水の汚染ということも全国的にも起きている中で、地下水だけに頼るということで大丈夫かと考えています。地下水だけでなく、表流水という川の水を浄化した埼玉県水も、水の供給源として安全面でも重要であると考えています。
4-2	Q	今回の引き上げが小さい口径の少量使用者の人達の使用料を引き上げていると考えています。大口利用者はどうなのでしょう。一般市民の生活水の値上げで大口利用者の企業などの引き下げ分を賄っているという結果につながっているのではないのでしょうか。 高齢者の観点からみれば、現状維持でも良いのではないのでしょうか。小口利用者が大口利用者の負担もしなくてはならないのですか。
	A	経営安定のためには、使用量の多寡に関わらず使用者の皆さんに広くご負担いただく必要があると考えています。改正案では、一般家庭の13mmと大口利用者の超過料金と基本料金を比較しても、大口利用者が下がっているということではないと考えています。 逓増制についても、上がっていくスピードは緩くなっていますが、上がっていることには変わりはありません。全体の負担感としては、それほど一般家庭と大口で変わるものではないと考えています。
4-3	Q	市内の高齢者の水道停水について、水道部門だけでなく、福祉部門との連携はあるのでしょうか。
	A	停水については、未納の翌月にすぐに止めるのではなく、一度ではなく通知を出したり、電話で状況を確認する等十分配慮させていただいています。 今後はますます高齢化が進むといわれていますので、高齢者を支える地域包括支援センター等の福祉の部門との連携もさらに深めていきたいと考えています。
4-4	Q	利用者の負担だけでなく、一般会計の負担や国の補助金も必要だと思います。
	A	水道事業は、将来にも持続可能な形で水を安定的に供給するため、地域の民力がベースにあってこそその事業と考えています。市民の皆様からの水道料金だけで運営したとすると、水道料金が極端に高くなるというのであれば考えなけ

4-4	ればなりません、市民の皆様、受益者の方からの水道料金で賄うというのが大原則だと思います。 また、水道事業がこれまでの厚生労働省の所管から国土交通省の所管になったということは、様々なインフラの中でも水道水が一番の基本的なインフラであるため、強靱化を図っていくという意味合いがあると考えられます。今のこの災害状況等を踏まえますと、強靱化をしっかりと図っていき、国の補助がでくるのであれば積極的に活用するべきと考えています。
-----	---

市民説明会 8/2（金）セルディ質疑応答（概要）

※内容については要約させていただいています。

		質 疑 応 答
1-1	Q	県水の値上げについて、7/1 に日本経済新聞に県水が値上げを行うという情報がありましたが、今回の料金について県水はどのくらい反映されていますか。
	A	水道事業審議会の答申案で、県水の上昇案を試算したところ、大きく影響がないということで確認できたため、県水の値上げは含まれていると受け取っていただければと思います。
1-2	Q	県水の値上げを想定して料金を設定しましたか。
	A	事前に県水の値上げの情報がありましたが、具体的な数字は決まっていませんでした。県からいくら位という情報が令和 6 年 3 月にあり、それまでは試算という形で情報を提示していただき、今回の最終的な発表となりました。段階ごとに確認したところ、影響がなかったと認識しています。
2-1	Q	年金に頼らざるを得ない生活をしていて、水道料金の値上げは不安しかありません。収入が少ない人に補助金や免除はありますか。なければ検討してほしいです。
	A	多くのものが上昇している中で、水道料金の値上げが大変だということは認識しています。しかし、水道は独立採算制で、受益者負担という考え方のもと運営しています。また、水道法に基づきますと補助は厳しいと認識しています。 令和 4 年度に続き、今年度の 6 月から 9 月に水道料金の免除を国の交付金を活用して市民の皆様により市として還元できないかという視点から実施させていただいています。生活をするにあたり水道料金の値上げは大きなご負担だと思いますが、ご理解をいただきますようお願い申し上げます。
2-2	Q	水道法があるから独立採算制というのではなく、苦しい側に立って、法律の方を変えるよう働きかけてほしいです。
	A	水道事業がなぜ独立採算制かというと、水は絶対になくてはならないものであり、地域により成り立ちが違っており、地域の力で賄う形で水道を続けていくということで将来につながっていくものだからと考えています。 生活が大変な方には福祉の側でセーフティーネットという制度があります。色々な水道料金の体系がありますが、あまりに高価になってしまうならば、最終的には税金を投入するということもありますが、そうでなければ地域の皆様自身で支えていくことが大事だと考えています。 水道事業の管轄が厚生労働省から国土交通省に変わったのは、大地震や大水害のときに、一番守っていかねばならないインフラというのが水道だからだと思います。もしかすると、国から補助がついてくる可能性があると思っています。そういう施策に積極的に手を挙げていく必要があります。できるだ

2-2		け市民の皆様に負担をかけない形で、水道事業を将来にわたって健全な形で維持していきたいと考えています。
3	Q	水道料金の現状を1とした時にどれくらい増えますか。
	A	スライドの中でも試算という形で13mmの口径で1か月当たり20立方メートルを利用しているケースで具体例を示して計算しています。水道料金は約1.4倍となります。

水道の現状についての説明会

アンケート集計結果

令和6年8月1日（木）

グローバルソフトウェア本庄文化ホール

来場者数 61名（男性：51名 女性10名）

（内、アンケート回答者 55名）

年齢別	20歳未満	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	未回答	合計
	1	0	0	2	4	16	26	2	4	55

令和6年8月2日（金）

本庄児玉文化会館セルディ

来場者数 37名（男性：29名 女性8名）

（内、アンケート回答者 33名）

年齢別	20歳未満	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	未回答	合計
	0	0	0	1	8	14	10	0	0	33

来場者数合計 98 名

アンケート意見内容①

グローバルソフトウェア本庄文化ホール

①…20歳未満 ②…20～29歳 ③…30～39歳 ④…40～49歳 ⑤…50～59歳 ⑥…60～69歳 ⑦…70～79歳 ⑧…80歳以上 ⑨…未回答

		年齢
1	料金UPはある程度許容しなければならないと思うが、断水を回避すべく計画的な補修計画を進めていただきたい。	⑦
2	水道管の更新も非常に重要だが、市民が毎日使用する水質も大切な要素である。本庄市では水質検査を年間どの位の回数を行っているのか、又何か所の水質を計測しているのか公表してほしい。	⑦
3	持続可能な水道事業のため施設等の更新は必要なことであり、計画的に実施することは理解でき料金改定もやむを得ないと考える。しかし新たな延伸（給水地域）については無制限とするのか、水道事業対象地域が拡張されることにより給水管等の設備管理がさらに増加し、将来に負担を残すことになるのではないかと。制限することは難しいことかもしれないが「コンパクトなエリア」を見据えた事業も必要と思う。	⑦
4	専門的な話で難しかった。	⑥
5	水道事業は生活していくうえで必須であるため、今回の説明会のようなことを引き続き実施し、現状分析・課題・対策・目標を丁寧に説明してほしい。	⑦
6	老朽化した設備・水道管の設備（修繕）投資を計画的に備蓄すべきである。 S6年・S30年に給水開始しているがその後のフォローが不足しているように感じる。市として反省すべきところはないのか疑問である。全てにおいて遅すぎる。	⑥
7	この事業についてのことは市民大学の月1講座で話してほしい。もっと皆に知らしめてほしい。水は生きるために！と思う。	⑦
8	水道管の仕様面。説明写真で塩ビ管を使用していたため劣化したとのことだが、写真はスチール管内にコレステロールのように付着したためと説明があった。どちらが多いのか。	⑦
9	老朽化への対応等は理解できた。水道料金の値上げも理解できる。（やむなし）	⑦
10	日中の会議を望む。	⑦
11	説明理解できた。頑張れ。	⑦

12	早急に進めてほしい。	⑥
13	いつも安全でおいしい水を共有していただきありがとうございます。	⑥
14	高齢者に優しい市にしてほしい。水道水を止めた話では現場（自宅）へ行って確認してほしい。	⑥
15	省エネを考えた更新を行っているか。	⑤
16	井戸水の話が出たが、井戸水を使う企業からその分を料金徴収することを考えたほうが良いのではないか。	⑦
17	各自治会から参加するよう働きかけがあったにも関わらず参加人数が少ないように思う。勿体ないと感じる、説明自体はわかりやすく聞きやすかった。現状を踏まえると料金改定も致し方ないのかなと感じた。	⑤
18	受益者負担の原則は維持されるべき、費用の負担は少ないことにこしたことはないが。	⑦
19	事業におけるコストダウン等も努力してもらいたい。（検針の自動化等）	⑥
20	先日、公共施設と学校の説明会があったが同様に理解できた。市民へは丁寧な説明をお願いしたい。	⑦
21	とても分かりやすかった。水道は市民生活に直結するため市政を上げてしっかり予算をとり水の供給・設備のメンテナンスをしてほしいと強く感じた。また有事の際に大規模断水や障害が起きないように浸水が想定される施設については早急に対応をお願いしたい。	①
22	水道インフラは大変重要なので設備の更新が必要な事業と思う。新しい水道管は特殊コーティングがなされているとのことだが経年劣化によりコーティングが剥がれたり管の性質が変化することはないのか。また、地下水の水質をもっと良くすることはできないか。台所、水回りが白くなるのがとても嫌だ。	④
23	給与・年金の実質値下げが続く状況の中、市民負担が多大にならぬよう検討してほしい。	⑦
24	非常によく説明してもらえた。ありがとうございました。	⑦
25	現在の人口・使用割合で（料金が）1.5倍になることが分かったが、人口減少を見越すと将来的にどのくらい値上げが必要になるか。市街化計画で小さなまち化もあわせて考えなくてはならないと思う。	⑥
26	給水停止の説明について、市全体の対策はどうなのか。福祉との連携は？理由はどうあれ冷たいと思う。説明を長くしたけれど説明になっていない。	⑦

アンケート意見内容②

本庄児玉文化会館セルディ

①…20歳未満 ②…20～29歳 ③…30～39歳 ④…40～49歳 ⑤…50～59歳 ⑥…60～69歳 ⑦…70～79歳 ⑧…80歳以上 ⑨…未回答

		年齢
1	良く理解できた。水道工事については早急に行ってほしい。	⑥
2	説明会を多めに開催してほしい。	⑦
3	概ね理解できた。料金値上げはやむを得ないと思う。	⑦
4	井戸水の利用ができないのか水質を調べてほしい。	⑥
5	水道料金を下げてほしい。	⑥
6	施設更新等による資金不足での料金改定はやむを得ないと思う。	⑥
7	铸铁→PE管を検討してほしい。Φ25以上はもっと上げて良いのでは。Φ20以下は良いと思う。県水は高くなる分少なくする方法が何かあれば良いと思う。今後のインフレをもう少し加味しての値上げが良いと思う。	⑤
8	収入が減るのは分かるが水道料金は安いほうが良い。	⑤
9	どこの地域が何年経過しているかの水道管の地図を示してほしい。	⑥
10	水道料金改定を考える必要もあると思う。	⑦
11	水道は必要なものであるから適切な処置をお願いしたい。	⑦
12	水道管維持管理の計画は順番が決められているのか。また、ランニングコストはかかってくるのか。給水人口の損益分岐点で赤字の場合は料金を上げるのか。1.4倍が妥当なのか。	⑤
13	なぜ何年もの間耐震化工事をしなかったのか。耐震の話が出てから何十年も経過しているがなぜ今頃。無計画すぎるのでは。	⑥
14	今後の水道料金の改定は理解できるが、例としてΦ13で20㎡＝現行1,900円→2,700円（1.45倍） 改定はR6.9月以降か、数か月前には案内を求む。	⑦
15	給料が全然上がらず料金が上がるのは少し痛いが老朽化の工事は必要なので仕方ないと思う。今日の試算の値上げくらいでお願いしたい。	⑤

16	断水や漏水しないよう事前対策を早めにしてほしい。もっと早めに手を付けたほうがよかったのでは。	⑥
17	今後の生活が不安。せめて施設保持だけでも税金で賄ってほしい。	⑥
18	少し前にNHKで水道クライシスについて放送していた。他の自治体では老朽化により突然水が出なくなるという話題があった。	⑤
19	施設等の老朽化による更新等の必要性。水道料金の見直しについて皆様方にご理解いただくための説明会。いつもながら参加者が少なく残念。	⑥
20	数年前より全国的にマスコミから「水道管の老朽化（配水施設を含む）」が報道されている中で、とても安価な料金で利用できていたことに感謝しつつ、今回の説明・提案については遅い対応と思っている。そのような状況の中でもいまだ比較的廉価な料金で利用できるのを伺い安心した。また水道の独立採算制は以前から賛成である。料金的には自信をもってアピールすべき。 この説明会に直接関連はないが、現在全国的に話題になっている「PFAS」について、折角の機会であったため市長や事務局から触れてほしかった。話題に触れないと市民が疑問に感じるため、本庄市の水道は全く問題ない等、暫く広報し続けたほうが良いと思う。 県水の件では値上げの説明があったが、児玉会場で質問のあった “県水が必要であるのか” “なぜ必要なのか” “県水は自動的に市町村に強制的に卸しているのか” 等の回答を「広報ほんじょう」や「水だより」で取り上げてほしい。会場での回答はお茶を濁したように感じた。 県水が値上げされたとの話は理解したが、県水以外の井戸からの水・浄水場の水等の単価も公に発表し、コストダウンの意識を市民に伝える必要があると思った。 アセットマネジメントを審議・答申したメンバーを広報や水だよりで取り上げてほしい。「詳しく知りたい方は…」ではなく、大切な市の方針を審議・答申するのだからみんなが目にする情報誌でお願いしたい。（どのような審議会・答申も同様）	⑥